



1 遠州大念仏

地域：中区・浜北区



浜松市の指定無形民俗文化財である遠州大念仏は、浜北地域を中心として遠州地方で傳承されている郷土芸能です。起源は、元龜3年(1572年)に徳川家康と武田信玄が戦い、家康の生涯最大の負け戦となった「三方ヶ原の合戦」における犀ヶ崖(さいががけ)での死者を弔うために始まったとされています。犀ヶ崖資料館など市内各地で広く行なわれ、浜松の盆を彩る風景として、人々に親しまれています。

時期：7月～8月

問い合わせ先：犀ヶ崖資料館 ☎053-472-8383

2 天竜川のせせらぎ

地域：東区・南区・天竜区



天竜川は諏訪湖に端を発し、伊那谷を南に下り、奥三河、北遠の山間部を通り遠州平野に至り、太平洋に注いでいます。浜松市は、天竜川の最下流部に位置し、広い河川敷を散策すると、緩やかに流れるせせらぎの音が耳に心地よく響きます。

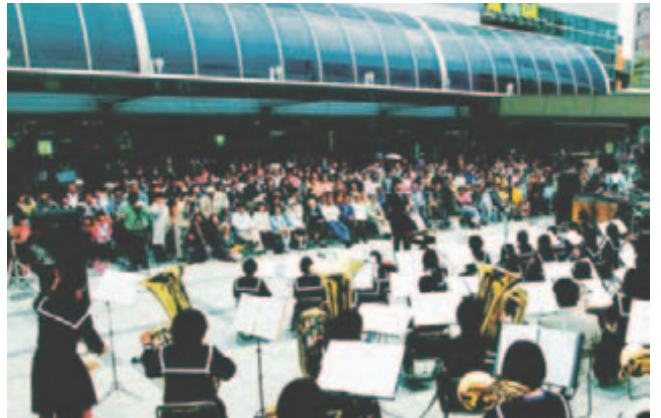
特に、佐久間などの北遠地域では、天竜川のせせらぎの音が風によって、川を訪れる人々をやさしく包み、心なませてくれます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

3 JR浜松駅前のコンサート

地域：中区



世界有数の楽器産業のまちである浜松市は「音楽のまちづくり」を推進し、市民が気軽に楽しめる街かどコンサートから、国際ピアノコンクールの開催まで、多くの音楽事業が実施されています。特に浜松市の玄関口となるJR浜松駅の周辺では、「プロムナードコンサート」など、さまざまな音楽イベントが開かれ、街中に常に音楽があふれ、道行く人を楽しませてくれます。

時期：一年をとおして
(プロムナードコンサートは4月から11月の土曜日(8月を除く))

問い合わせ先：浜松市文化振興財団 ☎053-451-1151

4 滝の水音

(滝沢「仙巖(せんがん)の滝」、
佐久間「大下(おおした)滝」、
龍山「不動(ふどう)の滝」)

地域：北区・
天竜区



滝沢「仙巖の滝」

都田川の支流の源泉部近くにある「仙巖(せんがん)の滝」は、巨石・奇石をぬって流れ、心地よい音を響かせています。佐久間の「大下(おおした)滝」は、標高千メートル近い白倉山系から湧き出す水を集め、数十メートルもの落差のある滝壺へと流れ落ちます。龍山の「不動(ふどう)の滝」は、その周辺が公園として整備され、滝をゆっくりと鑑賞しながら雄大な自然を十分に満喫できます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：北区・産業振興課 ☎053-523-1113
佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001
龍山地域自治センター地域振興課 ☎053-966-2111

5 馬込川の水鳥の鳴き声と水音

地域：南区



馬込川の河口付近では、川をさかのぼる「ザザー」という波の音が特徴的です。また、海岸部ではカモメが舞い、下流部は「馬込川サンクチュアリ」として、ツバメや水鳥など野鳥たちの貴重な棲(す)みかとなっています。



時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

6 楽器博物館のピアノの音

地域：中区



日本で初めての、そして唯一の公立楽器博物館として、19世紀ヨーロッパの貴重なピアノやホルンをはじめ、アジア、アフリカの楽器、日本の琴や尺八など、世界の楽器1,200点あまりを展示しています。



【休館日】第2・第4水曜(祝日の場合は翌日、8月は無休)、年末年始等

問い合わせ先：浜松市楽器博物館 ☎053-451-1128

7 森の水車

地域：西区

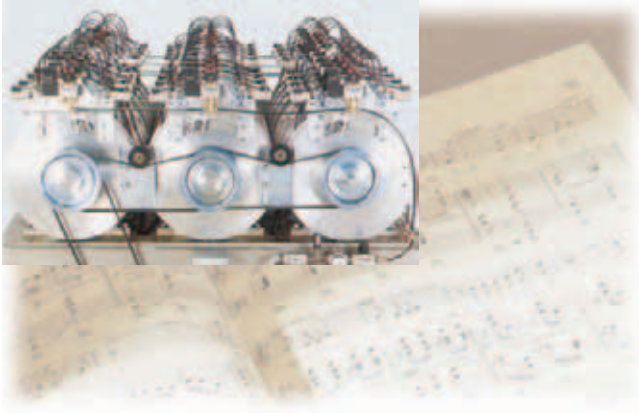


緑豊かな田園の中、水車がゆったりと回る…。そんな情景を名曲「森の水車」で美しく表現した作詞家、清水みのる氏は、西区伊左地町出身です。伊左地町の「森の水車公園」には水車小屋が復元され、昔と変わらぬ水車の音を「コットン、コットン」と響かせています。木々に囲まれて森の水車の音を聞きながら散策してはいかがでしょうか。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：水車会(伊佐見小学校内) ☎053-486-0007

8 楽器工場のミュージックサイレン 地域：中区



ミュージックサイレンは、ヤマハ(株)本社工場に1957年に設置されました。野バラや菩提樹などの曲目が、8,10,12,13,15,17時に流れ、付近の市民の皆さんに時刻を音楽で知らせています。毎日忙しく過ごす皆さんも時には手を休めて、ミュージックサイレンの奏でる音楽に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：ヤマハ(株) ☎053-460-2071

9 笠井町のだるま市の賑わい 地域：東区



笠井観音の名で親しまれる観光山福来寺(ふくらいじ)で、毎年1月10日に行なわれる大祭は「笠井のだるま市」としてよく知られています。福だるまをはじめ、縁日屋台がずらりと軒を連ねる「だるま市」は、観音様にお参りする人々とだるまを売る掛け声でごった返し、大賑わいとなります。

時期：1月10日

問い合わせ先：法光院(ほうこういん) ☎053-434-0739

10 浜北万葉まつり 地域：浜北区



浜北万葉まつりは、毎年10月に行なわれ、曲水の池を舞台に、万葉びとが雅やかに催した遊びである「曲水(きょくすい)の宴(えん)」で自作の歌を詠み、奈良時代万葉びとの雄姿が偲ばれます。

また、万葉の森公園では、一年をとおして万葉食や草木染めなどが体験できます。

時期：10月

問い合わせ先：浜北万葉まつり実行委員会 ☎053-586-6201

11 懐山(ふところやま)のおくない 地域：天竜区



毎年1月3日に懐山の泰蔵院(たいぞういん)で行なわれる民俗芸能で、その年の人々の安全、五穀豊穰、子孫繁栄などを祈る「鬼の舞」「駒の舞」などの演目が上演されます。しずかな山あいの院で催される、鈴や太鼓の音色にとけこんだ荘厳な舞いは、いにしえの生活文化・民族文化を心に刻み込みます。

時期：1月3日

問い合わせ先：天竜区・区振興課 ☎053-922-3300

12 舞阪大太鼓祭り

地域：西区



豊漁と海上安全を祈願する岐佐(きさ)神社の祭礼で、旧暦の9月14日と15日に開催され、大太鼓、おみこし、屋台が町内を練り歩きます。太鼓は最大直径2.5mのものもあり、祭りの終盤に岐佐神社の28段の急な石段を引き上げ、境内で一斉に打ち鳴らす音は一里四方に響き渡ります。

時期：旧暦の9月14日～15日

問い合わせ先：

舞阪地域自治センター地域振興課 ☎053-592-2111

13 今切口に於けるシラス漁に出漁する漁船団の音

地域：西区



朝もやの中、シラス漁に出漁するため何十隻もの船が競い合って出漁する時の音は圧巻です。

シラス漁の最盛期は、5～6月と10～11月です。



時期：漁期3月中旬～翌年1月中旬

問い合わせ先：浜名漁業協同組合 ☎053-592-2911

14 息(おき)神社祭典の練り太鼓の音と提灯の明かり

地域：西区



雄踏地域に伝わる祭典で、毎年10月10日に近い土曜日と日曜日に息神社の神社境内に中老の大太鼓8台と、館車と呼ばれる屋台6台が集合し、町内を練り歩きます。一番華やかな屋台は、金館車と呼ばれ、彫刻は江戸時代の後期のものとされています。館車の提灯のともりの美しさと大太鼓の音の迫力は、歴史ある祭典の壮大さを実感できます。

時期：10月中旬

問い合わせ先：

雄踏地域自治センター地域振興課 ☎053-597-1200

15 亀崎ファミリーランド

地域：西区



雄踏地域西端の浜名湖に接し、恵まれた自然景勝の地にあるこの公園には、プールやテニスコートの他、ソフトボール場、多目的スポーツ広場、芝生公園があり、一年をとおして利用客の楽しい歓声で賑わっています。



時期：一年をとおして

問い合わせ先：雄踏総合公園 ☎053-596-1894

16 姫街道

地域：東区・北区



東海道の裏街道として豊川市御油(ごゆ)より磐田市見付(みつけ)までの間、お姫様が江戸に上がるために使われた道として伝えられています。自然に囲まれた姫街道の石畳を散策すると、石畳を歩く音、踏みしめる枯葉の音、澄みきった小鳥のさえずりが響きわたり活力がわいてきます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

17 龍潭寺(りょうたんじ)の鶯張りの廊下

地域：北区



天平5年(733年)、行基(ぎょうき)が開山した古刹。本堂の「鶯張り」の廊下は、歩くとウグイスの鳴き声のように聞こえ、小堀遠州(こぼりえんしゅう)作と伝えられる庭園と見事に調和しています。庭園をはじめ、左甚五郎(ひだりじんごろう)作の龍の彫刻など、数々の文化財を保有しています。

【休館日】 8月15日、12月22日～27日

問い合わせ先：龍潭寺(りょうたんじ) ☎053-542-0480

18 いなさ人形劇まつり

地域：北区



全国から30以上のプロ・アマ劇団が集まる全国有数の人形劇の祭典。毎年11月開催の祭り期間中は、劇団の台詞や音響に加え、観劇する人々の歓声が会場に溢れます。



時期：11月下旬

問い合わせ先：いなさ人形劇まつり実行委員会 ☎053-542-1111

19 大福寺(だいふくじ)時計台

地域：北区



大福寺は貞観17年(875年)に創建された古刹で、この寺が起源という名物の浜名納豆は、日本の納豆の元祖といわれています。時計台は、昭和5年1月に道路横に建立され、通り過ぎる人々に時を知らせています。時計台には、人は一生懸命働くことが書かれています。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：大福寺(だいふくじ) ☎053-525-0278

16 姫街道

地域：東区・北区



東海道の裏街道として豊川市御油(ごゆ)より磐田市見付(みつけ)までの間、お姫様が江戸に上がるために使われた道として伝えられています。自然に囲まれた姫街道の石畳を散策すると、石畳を歩く音、踏みしめる枯葉の音、澄みきった小鳥のさえずりが響きわたり活力がわいてきます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：浜松市環境保全課 ☎053-453-6170

17 龍潭寺(りょうたんじ)の鶯張りの廊下

地域：北区



天平5年(733年)、行基(ぎょうき)が開山した古刹。本堂の「鶯張り」の廊下は、歩くとウグイスの鳴き声のように聞こえ、小堀遠州(こぼりえんしゅう)作と伝えられる庭園と見事に調和しています。庭園をはじめ、左甚五郎(ひだりじんごろう)作の龍の彫刻など、数々の文化財を保有しています。

【休館日】 8月15日、12月22日～27日

問い合わせ先：龍潭寺(りょうたんじ) ☎053-542-0480

18 いなさ人形劇まつり

地域：北区



全国から30以上のプロ・アマ劇団が集まる全国有数の人形劇の祭典。毎年11月開催の祭り期間中は、劇団の台詞や音響に加え、観劇する人々の歓声が会場に溢れます。



時期：11月下旬

問い合わせ先：いなさ人形劇まつり実行委員会 ☎053-542-1111

19 大福寺(だいふくじ)時計台

地域：北区



大福寺は貞観17年(875年)に創建された古刹で、この寺が起源という名物の浜名納豆は、日本の納豆の元祖といわれています。時計台は、昭和5年1月に道路横に建立され、通り過ぎる人々に時を知らせています。時計台には、人は一生懸命働くことが書かれています。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：大福寺(だいふくじ) ☎053-525-0278

20 明神峡(みょうじんきょう)の渓谷と紅葉

地域：天竜区



気田(けた)川の上流部に6kmほど続く美しい渓谷で、激流に洗われた岩肌や巨岩に目を見張らされ、四季折々の美しい姿を見せてくれます。特に秋には、渓谷一帯がカエデやブナなどの紅葉で鮮やかに染まり、上流から下流への紅葉の色合いの変化も楽しめます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：

春野地域自治センター地域振興課 ☎053-983-0001

21 勝坂神楽(かさかかぐら)の里

地域：天竜区



サワガニや水生昆虫が捕れる入地沢(いりちざわ)、クワガタやカブトムシに出会える森林、ハイキングコースなどがあり、どこか懐かしい景観に心が満たされます。また、毎年10月下旬には、400年の伝統を誇る地域色豊かな祭り「勝坂神楽」(五穀豊穰、子孫繁栄、武運長久(ぶうんちょうきゅう)などを祈願し、笛や太鼓の音にあわせた男子に限られた神楽舞)が行なわれます。

時期：4月下旬～11月の土曜、日曜、祝日

問い合わせ先：勝坂神楽の里 ☎053-989-1470

22 気田(けた)川のせせらぎとセミや小鳥の鳴き声

地域：天竜区



気田川のせせらぎや清らかな水の流れは、人々の心に潤いや安らぎを与えてくれます。夏場には、鮎釣りやカヌーをする人々が訪れ、セミや小鳥の鳴き声、川遊びをする子供たちの歓声は、アウトドアの楽しさと醍醐味を実感させます。自然が奏でる音にふれると都会の喧騒を忘れさせてくれます。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：

春野地域自治センター地域振興課 ☎053-983-0001

23 佐久間の川合花の舞

地域：天竜区



鎌倉時代から伝わる湯立ての神楽の一種で、天竜川や三河地方に多く伝承されている県の指定無形民俗文化財です。真っ赤な装束で「まさかり」を持った「山見鬼(やまみおに)」や「櫛鬼(さかきおに)」などが勇壮に乱舞する姿は、見物客を魅了します。毎年、10月最終土曜日の夕方から未明にかけて佐久間町川合の八坂(やさか)神社で奉納されます。

時期：10月最終土曜日

問い合わせ先：

佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001

24 秋の祭典をリードする獅子舞とお囃子の音

地域：天竜区



秋祭りの頃、佐久間地域のそこかしこから聞こえる獅子舞とお囃子のかけ声は、故郷の音として地域の人々に愛され、親しまれています。人情があふれ、訪れる人々の心を優しく包み込んでくれるこの佐久間の音は、都市との文化交流の要の役割を担っています。

時期：9月～10月

問い合わせ先：
佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001

25 天竜の森に響くウィーンの調べと飛龍(ひりゅう)太鼓の音

地域：天竜区



ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団バストローンボーン奏者であるカール・ヤイトラー氏との交流により佐久間地域に根付いたウィーンの音楽と飛龍太鼓の音。中でも、10月の佐久間ダムまつりで行われる龍神の舞や飛龍太鼓の迫力には圧倒されます。音楽のまち浜松で佐久間が誇れる音です。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：
佐久間地域自治センター地域振興課 ☎053-966-0001

26 水窪川とそこに生息するカジカガエル

地域：天竜区



豊かな清流に恵まれた、天竜川の支流で一級河川の水窪川。夏季には釣り人やヤマメのつかみ取りで賑わいます。また、その清流に棲むカジカガエルは、灰褐色の地味な体の色とは対照的に、大変美しい声で「ヒューヒューヒュー…」と鳴きます。



時期：6月～9月

問い合わせ先：
水窪地域自治センター地域振興課 ☎053-982-0001

27 切通し峡と布滝

地域：天竜区



河内(こうち)川の両岸に切り立った巨石が屏風のように立ち並び、自然の脅威を感じます。耳をすませば、岩に碎ける清流の音が聞こえ、自然の恵みを味わい楽しむことができます。また、美しい女性的な布滝からは、岩肌を清らかに水が流れる清音が聞こえ、心洗われる思いです。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：
水窪地域自治センター地域振興課 ☎053-982-0001

28 瀬尻(せじり)ぶか凧の発するうなり

地域：天竜区



瀬尻「ぶか凧」(武家凧)は、鶴亀などの縁起物を角絵(すま絵)として描き、「くじら」と呼ばれる鳴り物をつけて揚げるのが特徴です。形は横長の長方形で、骨は竹を用い、どんなに大きくても4本だけでできています。ぶか凧が、天竜川から吹き上げる風を受けて「くじら」のブーンという“うなり”とともに勢よく大空に揚がる姿は、龍山地域の風物詩となっています。

時期：6月

問い合わせ先：

龍山地域自治センター地域振興課 ☎053-966-2111

29 龍山森林文化会館のパイプオルガンの音色

地域：天竜区



龍山町瀬尻(せじり)の龍山森林文化会館ホールにはドイツ製のパイプオルガンが設置されています。このオルガンは、誰でも利用することができます。天竜林業地域の真っ只中にあり、木の楽器の象徴ともいえるパイプオルガンは、多くの人に愛され、龍山地域が育んできた森林文化を奏でています。

【休館日】土曜、日曜、祝日(事前申込のある場合は開館)

問い合わせ先：龍山森林文化会館 ☎053-968-0331

30 白倉峽(しらくらきょう)のせせらぎ

地域：天竜区



白倉山を源に天竜川へ注ぐ清流に刻まれた渓谷は、若葉が萌える新緑からあでやかな紅葉へと、移りゆく季節と共にその姿を変えます。紅葉は11月中旬から下旬が見頃です。

時期：一年をとおして

問い合わせ先：

龍山地域自治センター地域振興課 ☎053-966-2111

